

# 首相、山際大臣の更迭否定

## 旧統一教会との接点 国会論戦

岸田文雄首相の所信表明演説に対する代表質問が5日、衆院本会議で始まった。焦点は世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と政治の関係だったが、首相は従来の説明を繰り返した。教団との接点が次々と明らかになっていく山際大臣の更迭は否定。接点を隠めた細田博之議員に質問が向けられる異例の場面もあった。

### 細田議長へ質問 答弁なし

立憲民主党の泉徳大代表(四の)最高指導者と面会し、山際氏について「(教)ながら、その事実をひた隠

した」と批判。首相に「更迭しないのか」と迫った。首相は「理解を得られていないのであれば、自らの責任において丁寧に説明を尽くす必要がある」とかわした。

自民党の「点検」は十分との指摘を泉氏から受ける。首相は「旧統一教会との関係を持たない」とを徹底するため、地方議員も含めて対応を徹底する」と



衆院本会議の代表質問で、細田博之議長(右)に向かって「旧統一教会問題」について質問する立憲民主党の泉徳大代表。5日午後、上田幸一撮影

答弁。首相は3日の所信表明演説で、教団問題について「国民の信頼の重を正面から受け止め、説明責任を果たす」と強調していたが、これまでも説明や党の

方針を繰り返した。質問は、細田氏にも向けられたが、代表質問は議長に対する質疑を想定しておらず、答弁はなかった。山際氏は自身の行動につ

いて立憲の西村智恵代表代行に問われ「イベントに出席することで、団体にお墨付を与えてしまうようになったことを真摯に反省している」と述べた。

国葬について首相はルール作りを明言した。自民党の上川優子幹事長代理の質問に対して、有識者の意見を幅広く聞いて、論点を整理するとしたうえで「首相経験者の国葬については国会との関係などどのような手順を経るべきなのか、一定のルールを設けることを目指す」と述べた。

衆院は6日、北朝鮮が日本上空を通過する弾道ミサイルを発射したことを非難する決議案を全会一致で採択した。参院は6日に決議

する見通し。(安倍龍太郎)

細田博之衆院議長は5日の衆院代表質問の終り後、「旧統一教会と自身の接点について、記者団に「なんと

いると述べ、近く改めて説明する文書を出す考えを示した。細田氏は記者団から「会見する予定は」と問われたが、「以上です」とだけ答え、記者会見の有無については明言しなかった。